

### 認知症になっても自分らしく暮らせるまちづくり・ひとづくり・つながりづくり…25 稲田秀樹

かまくら認知症ネットワーク代表理事  
(株)さくらコミュニティーケアサービス代表

7月28日(土)「認知症について認知症の人から学ぼう!鎌倉」が鎌倉生涯学習センターホールに200名以上の参加者を集めて行われた。この企画はこの3月に横須賀で行われた講演会の第2弾でもある。「認知症について認知症の人から学ぼう!」は、今後も主に神奈川県内各地での開催を視野に入れている。

鎌倉での開催にあたっては、実行委員会形式として20名の実行委員が開催に関わっている。その中には認知症の本人も医師ら介護職や市民と共に名を連ねた。3月の横須賀での講演では、申し込みの受付から3週間もしないうちに定員に達したが、やはり鎌倉でも同じ現象が起こった。6月16日に申し込みを受け付け、7月6日には定員一杯となった。その後は申し込みをお断りする事態となった。

私は今後もこの現象は続くだろうと思っている。横須賀での講演と鎌倉での講演に共通して言えることは、認知症をポジティブに捉えて発信しているところにある。認知症となっても仕事を続けられる社会でありたいし、実際に仕事を続けている人がいる、それも意欲を持って取り組んでいる。また近藤英男さんのように、認知症になっても前向きで明るく元気な人もいます。ちょっと考えれば、認知症になるとみんな悩みを抱え、不安のうちに過ごしているかのようなイメージがこの病気には付きまとうが、全員が全員そんな思いでいるのかというと、決してそんなことはない。将来への不安ならだれにでもある。日々を楽しむ工夫や、今を大切にしたい気持ち、そして意欲的に過ごせるための人のつながりやサポートがあればなお良いだろう。

近藤さんが通っているデイサービス「アニエルチ」で交流のある保育園児たちがたくさん応援に駆けつけてくれた。子どもとお母さんたちもステージに上がり、オモチャのギターやボンボンを持って一生懸命応援してくれた。



演奏の最後にジャンプするヒデ2と子どもたち

7.28の鎌倉生涯学習センターホールでのコンサートのラストの光景は「認知症になっても、地域の人たちとともに明るく前向きに暮らせる社会の実現を目指そう」という決意表明であるかのように思えた。そしてそのメッセージは、参加した市民や本人家族、専門職らの心のなかで育まれ、次なるアクションを起こす、そんな予感に満ちていた。

もはや潮目が変わっているのかもしれない。認知症をネガティブに捉える傾向はなくなっているのではないが、超高齢社会となった今、人々は認知症を自分事として捉えて、病気をポジティブに乗り越えている人々の姿に共感する時代を迎えているのだと考えたい。

#### オレンジカフェ情報・・・市内のオレンジカフェが7カ所

9月8日(土)「今泉台オレンジカフェ」TEL0467-40-4210

9月9日(日)「由比ヶ浜オレンジカフェ」TEL0467-39-6087

8月19日(日)「小袋谷オレンジカフェ」TEL0467-53-7025

8月25日(土) 9月22日(土)「本人カフェ」(大船)0467-47-6685

9月16日(日)「オレンジカフェだんだん」(西鎌倉) TEL0467-39-1525

8月19日(日)「梶原山オレンジカフェ」TEL0467-46-8233

#### 7月・8月・9月の予定

8月25日(日) 本人カフェ 13:00~17:00 大船カフェ茶ら貸しスペース

8月28日(火) 運営会議 18:45~20:30 NPOセンター鎌倉

9月16日(日) 若年性認知症ほっとサロン 14:30~16:30 ギャラリー檜松

9月21日(金) 世界アルツハイマーデーチームオレンジ9.21イベント(各地)

#### ★入会ご希望の方...TEL0467-47-6685、FAX0467-39-5490

入会申込書をHPよりダウンロード、FAXのうえ年会費をお振り込みください

1. 個人正会員 3000円
2. 個人賛助会員 2000円(一口以上)
3. 団体賛助会員 2000円(一口以上)

郵便振込口座 00240-8-140587 口座名 一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク

#### ★運営スタッフ紹介★

##### こんにちは 楠 純子です



はじめまして。かまくら認知症ネットワークに入ってまだ日も浅い楠純子です。楽しく参加させて頂いております。私が介護の仕事を始めきっかけは20年前の母の一言でした。それから十数年間、介護スタッフとしてたくさんの方と出会い、色々な経験や体験をしてきました。

そんな中、7年ほど前に母が倒れ、自分自身が家族の介護をする状況となり、働きながら家族の介護をすることの苦労がとてよくわかり、自分自身が精神的にも追い詰められました。家族介護の大変さを身に染みて体験しました。

その後、介護現場の相談員として家庭環境に注意を向けるようになり、微力ながら、ご利用者ご家族の精神的負担を緩和していこうと思うようになりました。これからも住みなれた地域で、どんな方でも暮らしていける社会になるようにお手伝いをしていきたいと思っています。

一般社団法人



41号

# かまくら 認知症 ネットワーク

- 会報41号
- 2018年7月1日発行
- 編集発行人  
一般社団法人かまくら認知症ネットワーク  
〒247-0053 鎌倉市今泉台4-11-2
- TEL0467-47-6685
- HP <http://kamakuraninchishou.com/>
- 郵便振替  
00240-8-140587
- 編集責任者 稲田秀樹



## 認知症になっても前向きに仲間と楽しく生きることの大切さを学びました!

7月28日、鎌倉生涯学習センターホールにて「認知症について認知症の人から学ぼう!鎌倉」が開催されました。三浦・湘南鎌倉地域の認知症本人・家族・医療介護職・市民からなる実行委員会主催で、かまくら認知症ネットワークが共催で実施し、当日は255人(スタッフ登壇者含む)が集まりました。この事業は2018年度日本郵便年賀寄附金助成を受けて行われました。

### 第1部 講演会

レビー小体型認知症の小野寺朗氏は51歳の時に若年性認知症と診断され、57歳になった今も障害者枠で働き続けています。得意のパソコンを生かし、周りのサポートを得ながら、困難にあう度に前向きに打開策を考えて、乗り越えてきた心模様を語られました。

57歳の時にアルツハイマー型認知症と診断された近藤英男氏からは、デイサービスで子どもたちと楽しく交流したり、好きだったギターを再び始め、支援

### 第3部 演奏

第3部は、認知症ご本人らによるコンサート。最初に「ヒデ2」とRUN伴+三浦半島、Nami-nicationsのメンバーからなるRUNバンドとの歌と演奏。次は横浜から参加のご本人高井裕さんと奥様の君子さんの「ひろし&き一坊」が素敵なギター演奏と歌を聞かせてくださいました。その後近藤さんが通っているデイサービス「アニエルチ」で交流があるかわいい保育園児たちがミニギターとボンボンを手に舞台上上がり、

者とフォークユニット「ヒデ2」を結成し、明るく前向きに人生を楽しんでいることが伝わってきました。謙虚で力強い生き方に感銘しました。

荻原かな氏からはワーキングデイわかばの公園清掃、様々な物作り、認知症の方も思いっきりプレーできるソフトボール大会、本人カフェの報告があり、認知症の方の活動の場づくりの必要性を話されました。

### 第2部 トークセッション

第2部は稲田秀樹氏の進行で、壇上の近藤英男氏、小野寺朗氏、内門丈丈氏、荻原かな氏が、会場の若年性認知症の川名賢次さんの元の職場の同僚から、元気だった頃の話をついたり、前頭側頭型認知症の横溝節夫さんのご近所の方から、地域でのご本人のエピソードを聞きながら、登壇者がコメントするトークセッションを行ないました。会場の客席と壇上とのやり取りはとてまあたかく新鮮に感じました。(TN)

一緒に歌い、楽しみました。アンコールでは、近藤英男さんがアニエルチで子供たちによく聞かせているという曲「戦争を知らない子供たち」を会場みんなと一緒に歌いました。音楽を通じて会場がひとつになり、みんなが優しい気持ちになりました。一人ではできなくても、助けてくれる仲間がいる、一緒に挑戦してくれる仲間がいるのはとても素敵なことです。前向きに明るく認知症と付き合っていけたら素晴らしいと感じた第3部でした。(KY)

### 「若年性認知症ほっとサロン」 鎌倉市扇ガ谷 ギャラリー檜松

7月22日(日)14:30から16:30まで、鎌倉市扇ガ谷にある「ギャラリー檜松」にて、若年性認知症ほっとサロンが行われました。今年の5月より開催場所が「ギャラリー檜松」に変更になりました。

「ギャラリー檜松」は、周りを木々に囲まれたとても静かな場所にあり、素敵なお庭の奥に建物が建っています。室内には天然木で出来た机や椅子、棚などがあり部屋にいただけで癒される空間となっています。

はじめに、恒例の針灸マッサージ師の指導によるタッチケアを二人一組で行いました。次に、ご本人ご家族からの近況報告があり、毎日暑い日が続いているので色々とお気づきのことや、最近気が付いたご本人の行動の話などをしました。今回初めて参加されたご本人ご家族もいらしたので、自己紹介とご本人の様子などを話していただきました。

若年性認知症を発症してから、このほっとサロンのような社会資源につながるまでや、仕事を休職している間の過ごし方などが話題になり、それぞれの体験を語り合っていました。

ティータイムには、スタッフ手作りのコーヒーゼリーのおやつをいただき、会話も弾みました。テレビ朝日の「スーパーJチャンネル」で近藤英男さんと川名賢次さんの放映の話題や「7.28認知症について認知症の人から学ぼう!鎌倉」講演会についてなどの話題もあり盛り沢山でした。

最後に認知症ご本人近藤さんと当会稲田代表によるフォークデュオ「ヒデ2」によるミニライブが行なわれ、「風」「真夜中のギター」など4曲を披露されました。演奏に合わせてみんなで歌い、楽しい時間を共有でき、「ほっと」できたひとときでした。(KY)



### 「第31回かまくら散歩」バラの香りに包まれて」神奈川県立大船フラワーセンター

6月10日(日)神奈川県立大船フラワーセンターにて、当会支援部会主催第31回かまくら散歩「バラの香りに包まれて」を開催しました。

認知症ご本人6名、鎌倉学園インターアクト部8名を含む参加者は29名。小雨決行だったので、予定の46名が半数近くになってしまいました。その分、テレビ朝日の撮影クルーやNPOセンターの方も参加されたりで、普段とは違うにぎわいも感じられました。

予想に反して雨が弱まることなく、コース変更をしました。屋根があるグリーンハウス内で花をゆっくり見て歩き、美しいブーゲンビリアの下で何組かのご夫婦の参加者が記念撮影をしていました。また今が見頃とあって、ハナショウブの雨の中ならではの美しい

姿を足早に味わいました。来園者が少なかったので、スイレン池とバラ園の2か所の屋根付き休憩所を以てヒデ2のミニコンサートを行いました。遅咲きのバラをバックに「バラが咲いた」「亜麻色の髪の乙女」などをみなさんと元気に歌いました。なぞなぞタイムでは中学生たちの回答の速さに驚かされながら、大人たちも負けずと頭をひねり、おしゃべりと笑顔の花を咲かせていました。

なお、この日はテレビ朝日の「スーパーJチャンネル」という報道番組の取材があり、当会会員で若年性認知症の近藤英男さんと川名賢次さんが仲間や支援者とともに生きがいを持って暮らす様子が撮影されました。(TN)



### 地域の動き 「認知症の本人たちが「認知症の本人の本ブックフェア」を訪ね手作りポップを渡しました」 くまざわ書店大船店

5月26日(土)、大船で行われている本人カフェのメンバー5人が「くまざわ書店大船店」(西友大船店内)を訪問した。訪問の目的は、本人カフェのメンバーたちの提案で行なわれるようになったブックフェアのお礼を言いに行くことだ。「ただお礼に行くだけでは物足りないなあ」ということで、認知症の本人同士で文面を考えてメッセージを記入した手作りポップを持参して向かった。

書店に着くと、本人カフェのメンバーの近藤英男さんが手作りの本人メッセージポップを店長さんに手渡した。書棚には藤田友子さんや佐藤雅彦さんなどの認知症本人の本が並べられていて、ポップはその上に飾られた。5人のメンバーも誇らしい表情だった。

メッセージはメンバー同士で話し合い、加えたい言葉は何かを語り合った。それらを文章化してできたのが、「私たちも、前向きに仲良く、元気に楽しく、過ごしています」という内容だ。ポジティブな言葉がいくつも並んでいる。世間一般的には、どうしても認知症という病気にはネガティブなイメージが付きまとう。このメッセージ裏側には、そんな状況を変えたいという当事者たちの強い思いがこめられている。(IN)

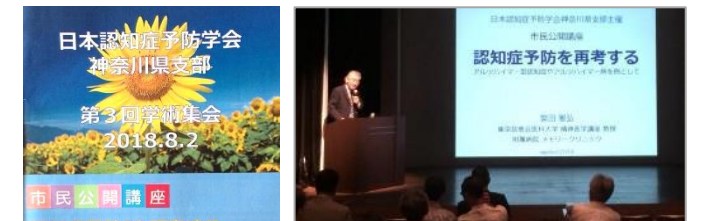


### 地域の動き 「市民公開講座 認知症予防を再考する」 日本認知症予防学会神奈川支部

8月2日(木)横浜市社会福祉センター4階ホールにおいて認知症予防学会神奈川支部が主催する市民公開講座「認知症予防を再考する」が行われました。講演は3部に分かれていて、第1部の「毎日の生活を楽しむ事の大切さ」では、当会稲田代表と逗子市の近藤英男さんから、発病から現在に至るまでの出来事や近藤さんの気持ち、家族や友人達の支援について話がありました。第2部では、小田原市の武井内科医院院長の武井和夫医師から「小田原での認知症対策2018」と題し、地域の多職種が職域を超えてつながり認知症支援に取り組む内容の説明がありました。

第3部は東京慈恵医科大学精神科教授繁田雅弘先生

の「認知症予防」を再考する」と題する講演でした。先生は一般的な認知症予防に関して否定的なデータも示した後で、1995年以降認知症の人の認知症治療薬の治験を受けた人のなかで、偽薬を飲んだ人の経過が良好に推移している点に着目し、ケアや医療の質の変化がその理由ではないかとの見解を話されました。認知症の進行予防に可能性を感じました。(KWT)



### 地域の動き 「9.21 大船観音や大観覧車がオレンジ色にライトアップされます」 チームオレンジ9.21 実行委員会

6月18日、神奈川県民センター会議室において、世界アルツハイマーデー普及啓発イベント実行委員会(以下、チームオレンジ9.21)が開催されました。実行委員長には杉山孝博医師(川崎幸病院院長)が就任し、実行副委員長には小田原の武井和夫医師(武井内科医院院長)、当会の稲田代表が就任されました。また、実行委員は神奈川県内から広く20名が選任されました。

神奈川県では、昨年初めて県庁本庁舎のオレンジライトアップイベントが実施されました。この時の点灯セレモニーでは「ヒデ2」が出演しました。今年の9月21日には、コスモクロック(大観覧車)や横浜開

港記念館、江ノ島のシーキャンドル、大船観音などのオレンジライトアップのほか、新都市プラザ(横浜駅東口)では、「ヒデ2」のライブや認知症本人も参加する普及啓発イベントを検討中です。

チームオレンジ9.21では、神奈川県や県内各地域の世界アルツハイマーデーの取り組みの情報を共有しながら協力していきます。(KWT)

